

県立水戸桜ノ牧高等学校常北校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

校訓「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身共に調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>1 至誠を貫き、勤勉かつ規範意識が高く、社会変化に柔軟に対応でき、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、社会的自立ができる人財</p> <p>2 生活をとおしてよりよい人間関係を形成し、課題解決に向け主体的にチャレンジできる人財</p> <p>3 地域社会や産業界等と協力し合い、生涯にわたって郷土を愛し、自ら学び続けることのできる人財</p>	<p>1 現状・特徴・問題を理解するだけでなく、情報を多面的に捉え、自分の考えを具体化し、他者との比較・分類や構造化・抽象化など、探究の過程に応じた技能を身に付けることができる。</p> <p>2 設定課題の応じた情報を集め整理・分析し、その考察内容をまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。</p> <p>3 自分を理解すると共に他者を理解し、実社会・実生活の問題解決に取り組み、積極的に地域の活動に参加することができる。</p>	<p>・読解や識字に配慮を要する生徒については、ICT 機器の活用や個別対応を行い、周囲と同内容を進められるようにする。</p> <p>・まとめる力や、発言を苦手とする生徒については、ICT 機器を使用したグループワークの展開を実施し、間接的に自己意見を発表できるようにする。</p> <p>・グループワークやさまざまな発表をとおし、自己肯定感を高めさせていけるようにする。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	<p>【探究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よりよい人間関係を構築するために」 ・「身近な事象から実生活への学びにつなげよう」 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師によるマナー演習、コミュニケーション演習の実施 ・地域の課題や身近なニュースから実生活に生かせることを見つけてみよう。 	<p>株式会社さんぼう 城里町役場等</p>	<p>様々な生活を通じてよりよい人間関係を形成し、仲間と協力して課題解決に向け主体的にチャレンジができる。</p>

様式 1

<p>2年</p>	<p>【探究課題】 「地域や社会のために自分は何ができるか」 「国際平和のために私たちができることはなにか」</p> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートの活用 ・外部講師ガイダンスや自己分析講座等の実施 ・平和学習をテーマとした資料収集及び社会参画意識の育成 	<p>株式会社さんぼう 株式会社ジンジブ JICA 等</p>	<p>コミュニケーション能力及び社会性・協調性の育成、設定課題に対し正確な情報の収集、整理・分析力の向上を目指す。</p>
<p>3年 （科目名）</p>	<p>【探究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分と向き合い自分にできる社会貢献について考えよう」 ・「社会人になるために必要なこと」 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献をテーマとした自分と社会の関わり方の探究 ・外部講師による進路ガイダンスの実施 	<p>株式会社さんぼう 株式会社コナカ等</p>	<p>自分の特性と向き合い、地域社会や産業界とのかかわりを深めようとする。また、社会人としてのマナーを身につけ、社会的自立を目指す。</p>